

「将来ビジョン（仮称）」の策定及び「経営戦略2020-2029」の改定について

2012年3月に「将来構想」を策定して10年が経過

企業団をめぐる状況の変化

課題の顕在化（水需要の減少、施設の老朽化、人材不足等） 社会の潮流（SDGs、DX、GX等）
市町村水道事業との統合、府域一水道に向けた動き



- 様々な状況の変化に適切に対応しながら、水道事業の運営基盤を強化し、持続可能な事業運営を図る必要性
 - ・ **市町村域水道事業の運営や府域一水道に向けた取組**（「府域一水道に向けた水道のあり方協議会」での議論、大阪府の計画等との整合）を踏まえた「将来像」等の設定
 - ・ 浄水施設の全面更新や4・5 拡管路の本格更新を盛り込んだ施設整備計画と財政収支計画の策定

◆ **新たに「将来ビジョン（仮称）」を策定**
 （計画期間：2023年度から2052年度までの30年間）

◆ **あわせて「経営戦略2020-2029」を改定**

今後のスケジュール

- 令和4年10月 経営・事業等評価委員会への中間報告
- 11月 パブリックコメントの実施
- 令和5年1月 経営・事業等評価委員会へ最終案提示・意見具申
 首長会議
- 2月 企業団議会
- 3月 将来ビジョンの策定・経営戦略2020-2029の改定

